

第六回コラボ実践コンテスト 小学校・中学校部門 アピールシート

平成 29 年 1 月 10 日

所属名:愛知県岡崎市立六ツ美北部小学校

実践学年組:4 年 3 組

氏名:杉山康子

教科	総合的な学習の時間
実践期間	28 年 6 月 20 日～9 月 16 日
実践タイトル (35 文字以内) チャレンジ六北小エコキッズ ～水エコにチャレンジしよう～	
実践の目的 社会科で学習した「暮らしを支える水」の学習を発展させより実践的に水資源を大切に生活を考えられるようにする。	
実践のポイント・工夫 社会で学習した上水道の仕組みの学習を発展させ、下水道の仕組みを学んだ。上下水道の両面から、水資源について学び、自分たちの水を大切に使おうとチャレンジに結びつけた。	
実践内容 (簡単に) 社会では水源地から蛇口まで安全な水が届く仕組みを学んだ。総合的な学習の時間では蛇口から海までの下水の仕組みについて、市役所の下水道課の方を招いて、講演を聞いたり、実験観察したりした。 上下水道を学んだまとめとして、コラボノートを利用して 4 人 1 組で新聞にまとめた。それぞれのグループが水エコに宣言を考え、夏休みの間、家庭で水エコチャレンジを行なった。2 学期に自分たちが実践したこと、それからもっとやってみたいことをコラボノートの付箋に色分けしながら記入して、意見交換を行なった。	

(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。

もともとあったテンプレートを少し変更して使ったので、見出しや本文、写真などのレイアウトを考え易かった。

付箋に実践や感想を書くのは、ローマ字入力に不慣れであっても手軽にできるので、取り組み易かった。

実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でどのように活用したか記載してください。

全 9 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの 活用
2	下水道教室 ・下水道の仕組み ・水をきれいにする微生物観察 ・水質検査	市役所の方が説明を行い、観察や実験の補助を教員が行う。 蛇口から海までつながっていることを理解し、水の流し方を考えることができたかどうか評価する。	
4	水エコ新聞を作る。 ・グループで記事の内容と担当、レイアウトを決める。 ・記事の下書きをする。 ・コラボノートを使って新聞を制作する。	社会のノート、浄水場見学のしおり、下水道教室の資料を持ち寄り、記事の内容担当を決められるように支援する。 ローマ字入力に不慣れな児童も多いので、記事の下書きをしてから、コラボノートを利用するようにする。 写真は共有フォルダに入れ、自由に使えるようにする。	コラボノートを利用して 4 人 1 組で新聞にまとめる。
3	夏休みの水エコチャレンジの感想をまとめよう ・名簿番号で決めた枠の中に、実践したエコチャレンジ、おすすめ商品、感想を色別の付箋を使って記入する。 ・色別に付箋を集め感想交流を行う。	始めは、枠の中に書くことで、重なって見えなくなるのを防ぐことができるように支援する。 誰がどんなことを書いたか分かりやすく、互いに読み合い交流することができる。 枠の中に書いたノート複製し、付箋を移動できるようにする。	コラボノートに 40 人分の枠を作り、その場所に自分の実践や感想を書く。 色別に付箋を集めまとめる。